



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 6月19日

出願番号

Application Number:

特願2000-183665

出願人

Applicant(s):

富士通株式会社

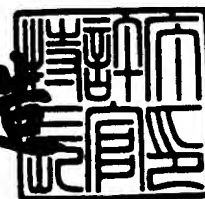
RECEIVED
JAN 30 2002
Technology Center 2100

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月14日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3055998



4
OK
01-8-02

Attorney Docket No. 1614.1171

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Hiroshi IKEDA, et al.

Application No.: 09/882,178

Group Art Unit: 2171

Filed: June 18, 2001

Examiner: HA

RECEIVED
JAN 30 2002
Technology Center 2100

For: WEB SITE SYSTEM, CENTER SITE, SERVICE SITE, AND SEARCHING METHOD

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-183665

Filed: June 19, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: January 24, 2002

By:


H. J. Staas
Registration No. 22,010

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

【書類名】 特許願

【整理番号】 0051194

【提出日】 平成12年 6月19日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 H04L 11/00

【発明の名称】 ウェブサイトシステム、センターサイト、サービスサイト及び検索方法

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 池田 浩志

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 坪根 久之

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 川田 祐司

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100070150

 【住所又は居所】 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー32階

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 伊東 忠彦

【電話番号】 03-5424-2511

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 002989

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704678

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ウェブサイトシステム、センターサイト、サービスサイト及び
検索方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおいて、

前記センターサイトは、前記複数のサービスサイトの会員情報を格納した会員情報データベースを有し、

該会員情報データベースは、当該センターサイト又は前記複数のサービスサイトで得た会員に関する情報に基づいて、会員情報を格納し、

前記センターサイトは、前記会員情報データベースに格納された会員情報を、サービスサイトに通知することを特徴とするウェブサイトシステム。

【請求項2】 請求項1記載のウェブサイトシステムにおいて、

ユーザが、前記センターサイトを經由して、前記サービスサイトにアクセスするとき、

前記センターサイトは、前記会員情報データベースから、前記ユーザの会員情報を抽出して、ユーザのアクセス先のサービスサイトに通知することを特徴とするウェブサイトシステム。

【請求項3】 請求項2記載のウェブサイトシステムにおいて、

前記センターサイトは、前記会員情報データベースから、前記ユーザの会員情報を抽出してクラス分けし、前記ユーザのアクセス先のサービスサイトに、前記ユーザのクラスを、前記会員情報の全部又は一部として通知することを特徴とするウェブサイトシステム。

【請求項4】 会員情報を格納した会員情報データベースを有するセンターサイトにおいて、

前記会員情報データベースには、当該センターサイトを經由して接続される複数のサービスサイトの会員情報が格納され、

前記会員情報データベースは、前記複数のサービスサイトに対して同一のデータベースであり、

前記会員情報データベースの会員情報は、前記複数のサービスサイトでのアクションに応じて、更新され、

前記センターサイトは、ユーザがサービスサイトにアクセスしたとき又は前記複数のサービスサイトから会員情報の問い合わせがあったとき、前記会員情報データベースに格納された会員情報を、サービスサイトに通知することを特徴とするセンターサイト。

【請求項 5】 複数のサービスサイトの会員情報であって、複数のサービスサイト共通の会員情報を格納した会員情報データベースを有するセンターサイトを経由してアクセスされるサービスサイトであって、

当該サービスサイトでユーザがアクションを行った場合、前記会員情報データベースの更新を行うために、前記ユーザのアクションに関する情報を前記センターサイトに通知することを特徴とするサービスサイト。

【請求項 6】 請求項 5 記載のサービスサイトにおいて、

ユーザが、前記センターサイトを経由して当該サービスサイトにアクセスしたときに、前記センターサイトから、アクセスしたユーザの会員情報を得ることを特徴とするサービスサイト。

【請求項 7】 請求項 5 記載のサービスサイトにおいて、

前記センターサイトにユーザである会員を特定する情報を提示して、前記センターサイトから、会員情報を取得することを特徴とするサービスサイト。

【請求項 8】 センターサイトと、該センターサイトを経由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

サービスのジャンル毎に、検索範囲を変更することにより、サービスのジャンルに適合した情報を提供することを特徴とする検索方法。

【請求項 9】 センターサイトと、該センターサイトを経由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

個々のユーザにサービスを提供する店毎に、サービス範囲を登録し、

サービス範囲が登録された店に関しては、このサービス範囲を検索条件に付加

して検索することにより、店のサービス範囲を超えた場合は、検索出力されないことを特徴とする検索方法。

【請求項 1 0】 センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

ユーザの現在位置周辺の特定施設に基づいて、検索式を作成することにより、ユーザの現在位置周辺の特定施設に応じた情報を提供することを特徴とする検索方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ウェブサイトシステム、センターサイト、サービスサイト及び検索方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年コンピュータの発展に伴い、ネットワークを介した産業が急速に展開している。このような状況においては、ユーザと、サービスサイトやサービスサイト内のコンテンツとの効率的なマッチメイクが必要となってきている。

【 0 0 0 3 】

また、昨今、ユーザの個人情報（地域、趣味等）を管理し、最適な情報を配信する（One to One マーケティング）が重要視されている。

【 0 0 0 4 】

そのため、各サービスサイトは、登録時の情報以外に、その後のアクションを監視して、ユーザの特性等を知り、その特性に応じて商品のプロモーション等を行っている。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、サービスサイトは、閉じた運営を行っており、他のサービスサイトに情報が引き継がれておらず、各ユーザの個人情報を、各サービスサイトで

、個々に、収集・管理している。

【0006】

そのため、ユーザは、新しいサービスサイトを利用する毎に、新規ユーザとして、サービスサイトに登録を行う必要がある。これは、ユーザにとって、甚だ、煩わしいことである。

【0007】

また、あるサービスサイトで、あるユーザが、物品を購入した場合、他のサービスサイトには、あるユーザが物品を購入した事実及び何を幾らで購入したかの情報は通知されない。従って、サービスサイトで商品のプロモーションを行う場合、他のサービスサイトでの購買に関する情報が無いままに行われているので、効率的に商品のプロモーションが行われているとは言えない。

【0008】

また、ユーザの状況に応じて、的確な検索が必ずしも行われていないという問題がある。

【0009】

本発明は、上記問題に鑑みなされたものであり、サービスサイトへのユーザの登録負担を軽減し、各サービスサイトにおいて会員情報の管理負担を軽減しつつ最新の会員情報を得ることを可能とし、更に、ユーザの状況に応じた的確な検索を行うことを目的とするものである。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本件発明は、以下の特徴を有する課題を解決するための手段を採用している。

【0011】

請求項1に記載された発明は、センターサイト（例えば、図1におけるセンターサイト10）と、該センターサイトを経由してアクセス可能な複数のサービスサイト（例えば、図1におけるサービスサイト20₁～20_N）とからなるウェブシステムにおいて、前記センターサイトは、前記複数のサービスサイトの会員情報を格納した会員情報データベース（例えば、図1における会員情報デ

ータベース 13) を有し、該会員情報データベースは、当該センターサイト又は前記複数のサービスサイトで得た会員に関する情報に基づいて、会員情報を格納し、前記センターサイトは、前記会員情報データベースに格納された会員情報を、サービスサイトに通知することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

これにより、サービスサイトへのユーザの登録負担を軽減し、各サービスサイトにおいて会員情報の管理負担を軽減しつつ最新の会員情報を得ることができる。

【 0 0 1 3 】

請求項 2 に記載された発明は、請求項 1 記載のウェブサイトシステムにおいて、ユーザが、前記センターサイトを經由して、前記サービスサイトにアクセスするとき、前記センターサイトは、前記会員情報データベースから、前記ユーザの会員情報を抽出して、ユーザのアクセス先のサービスサイトに通知することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

これにより、サービスサイトは、会員情報に基づいて、迅速に、必要な処理を行うことができる。場合により、ユーザの求める、検索を自動的に行うことができる。

【 0 0 1 5 】

請求項 3 に記載された発明は、請求項 2 記載のウェブサイトシステムにおいて、前記センターサイトは、前記会員情報データベースから、前記ユーザの会員情報を抽出してクラス分けし、前記ユーザのアクセス先のサービスサイトに、前記ユーザのクラスを、前記会員情報の全部又は一部として通知することを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

これにより、サービスサイトは、クラス情報に基づいて、ユーザに適合したホームページを表示することができる。

【 0 0 1 7 】

請求項 4 に記載された発明は、請求項 1 ～ 3 に記載のウェブサイトシステムに

適したセンターサイトである。

【 0 0 1 8 】

請求項 5 ～ 7 に記載された発明は、請求項 1 ～ 3 に記載のウェブサイトシステムに適したサービスサイトである。

【 0 0 1 9 】

請求項 8 に記載された発明は、センターサイト（例えば、図 1 におけるセンターサイト 1 0）と、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイト（例えば、図 1 におけるサービスサイト 2 0₁ ～ 2 0_N）が行う検索方法であって、サービスのジャンル毎に、検索範囲を変更することにより、サービスのジャンルに適合した情報を提供することができる。

【 0 0 2 0 】

請求項 9 に記載された発明は、個々のユーザにサービスを提供する店毎に、サービス範囲を登録し、サービス範囲が登録された店に関しては、このサービス範囲を検索条件に付加して検索することにより、店のサービス範囲を超えた場合は、検索出力されないようにすることにより、サービス可能な店しか、検索出力されないもので、検索結果の情報の信頼度が上がる。

【 0 0 2 1 】

請求項 1 0 に記載された発明は、ユーザの現在位置周辺の特定施設に基づいて、検索式を作成することにより、ユーザの現在位置周辺の特定施設に応じた情報を提供することができる。

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面と共に説明する。

（システムの構成例）

図 1 は、本発明におけるシステムの構成例を示す。

【 0 0 2 2 】

本システムは、ユーザ端末 1、センターサイト 1 0 及びサービスサイト 2 0₁ ～ 2 0_N から構成されている。

【 0 0 2 3 】

ユーザ端末1、センターサイト10及び複数のサービスサイト $20_1 \sim 20_N$ は、インターネット等の通信ネットワークで接続されている。

【0024】

ユーザ端末1は、ポータルサイト11を経由して、サービスサイト12、 $20_1 \sim 20_N$ にアクセスすることができる。

【0025】

センターサイト10は、ポータルサイト11とサービスサイト12と会員情報データベース13とから構成されている。なお、サービスサイト12は、無くてもよい。従って、以下の説明では、サービスサイト12を無視して説明する。

【0026】

本発明におけるウェブサイトシステムは、センター10及びサービスサイト $20_1 \sim 20_N$ からなるシステムを言う。

【0027】

また、各サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ は、当該サービスサイトが利用する特有の情報を格納するデータベース $21_1 \sim 21_N$ を有する。

(会員情報データベース)

会員情報データベース13には、例えば、会員名、会員ID、住所、電話番号、地域、趣味、嗜好、年齢、職業、年収等の会員情報が格納される。

【0028】

会員情報データベース13には、サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ の会員情報を格納し、各サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ は、センターサイト10を介して、この会員情報データベース13の会員情報を利用する。

【0029】

この会員情報データベース13は、サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ に対して、同一のデータベースであり、ユーザは、センターサイト10に対して、会員登録するだけで、センターサイト10に接続されたサービスサイト $20_1 \sim 20_N$ を利用することができる。

【0030】

会員情報データベース13は、センターサイト10又はサービスサイト 20_1

～20_Nで得た会員に関する情報に基づいて、会員情報を作成・更新する。

【0031】

次に、センターサイト10が有する会員情報データベースにおける会員情報に関する「地域」の格納の例を説明する。

【0032】

地域を登録する場合、複数の場所を一つの地域として、会員情報データベースに登録することができる。

【0033】

また、そのとき、除外する場所を特定し、該特定された場所を、一つの地域から除外して登録する。

【0034】

例えば、図2に示すように、「自宅周辺」を登録するとき、自宅の住所と駅の二つの場所で登録する。このとき、例えば、自宅の住所は、周囲500mの範囲を含み、駅の範囲500mを含む。従って、「自宅周辺」をキーにして、検索するときは、自宅の住所の周囲500mの範囲と駅の範囲500mの範囲を自宅の範囲として、検索される。

【0035】

これにより、日常的に利用する情報を得るための検索に適した「地域」に関する会員情報の登録ができる。

【0036】

また、このとき、山や川は、日常的な行動範囲内でないので、山や川を自宅の範囲から除外してもよい。

(システムの動作)

ユーザ端末1は、サービスサイト20₁～20_Nにアクセスして、サービスサイトのサービスを受ける。

【0037】

ユーザ端末1は、サービスサイト20₁～20_Nにアクセスするには、ポータルサイト11を介して行う。このとき、センターサイト10は、会員情報データベースから、ユーザの会員情報を抽出して、ユーザのアクセス先のサービスサイ

トに通知する。

【0038】

また、センターサイト10は、適宜、会員情報の一部として、会員ID情報を通知する。サービスサイト20₁～20_Nは、必要に応じて、会員ID情報を示して、会員ID情報を用いて、センターサイト10に、会員情報を問い合わせる。センターサイト10は、サービスサイト20₁～20_Nの問い合わせに応じて、会員情報データベース13に格納された会員情報を、サービスサイト20₁～20_Nに通知する。

【0039】

また、センターサイト10は、ユーザ端末1のサービスサイト20₁～20_Nのアクセス時に、ユーザの会員情報からクラス分けを行ってユーザのクラスを、会員情報の一部又は全部として、サービスサイト20₁～20_Nに通知してもよい。例えば、クラスとしては、地域、男女の別等である。

【0040】

ユーザのクラス情報を受けた、サービスサイトでは、そのクラスに適合したホームページを開く。例えば、ユーザの地域に関するホームページ、女性用又は男性用のホームページ等である。

【0041】

サービスサイト20₁～20_Nでユーザがアクション（ユーザが、サービスサイトを利用して、サービスを受けた場合等）を行った場合、サービスサイト20₁～20_Nは、その内容をセンターサイト10に通知する。

【0042】

例えば、ユーザが物品の購入を行ったとき、物品名、価格等をポータルサイト11に通知する。センターサイト10では、この情報に基づいて、このユーザの購買履歴を更新する。

【0043】

また、センターサイト10は、この購買情報に基づいて、個人情報を付加又は変更する。例えば、ファッション品の購入した場合、その人の購買に関する特性情報として、ファッション品に興味あることを情報として付加する。

【0044】

この購買に関する特性情報を用いれば、ファッション品のプロモーション行う場合、その特性を有するユーザに働きかけることで、効果的なプロモーションを行うことができる。

【0045】

また、各サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ で行った全てのアクションの情報が、センターサイト10に集約されるので、最新のデータベースが構築される。各サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ では、この最新のユーザ情報に基づいて、ユーザにプロモーションを行うことができ、更に、効果的なプロモーションを行うことができる。

【0046】

また、各サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ では、会員情報を管理する必要がなく、会員のクラス等に合わせた最適なプロモーション方法のみを管理すればよい。各サービスサイト $20_1 \sim 20_N$ での、会員情報の管理の負担が大幅に軽減される。

(サービスサイトでのサービス)

図3及び図4を用いて、ユーザが、ピザの注文を行う例について説明する。

【0047】

センターサイト10におけるポータルサイト11の画面に、ピザ屋（サービスサイトA）、病院（サービスサイトB）、語学スクール（サービスサイトC）等が表示される。

【0048】

また、センターサイト10は、ユーザID 13_1 、住所 13_2 、趣味 13_3 等を格納している会員情報データベース13を有している。

【0049】

また、サービスサイトAは、ピザ屋に関するデータベース21を有している。データベース21には、ピザ屋の名称 21_1 、住所 21_2 等の情報が格納されている。

【0050】

ユーザは、ユーザのパソコンPC1を操作して、センターサイト10（ポータルサイト11）に接続する（S1）。ポータルサイト11の画面から、ピザ屋を選択する（S2）。その結果、ピザ屋のサイトAに飛ぶ。そのとき、センターサイト10は、会員情報データベースを参照して、ユーザの住所を、サービスサイトAに通知する（S3）。サービスサイトAでは、通知された住所からデータベース21を検索して、ユーザの最寄りのピザ屋を自動的に探す（S4）。その結果を、画面に生成して、表示する（S5）。

【0051】

ユーザは、この画面から直接、ピザを注文する。

【0052】

また、ユーザは、この画面を見て、他の手段（例えば、電話）を用いて、注文しても良い。

【0053】

次に、図5及び図6を用いて、センターサイトの会員情報データベースの更新の例を説明する。

【0054】

図3と同様に、ユーザは、ユーザのパソコンPC1を操作して、センターサイト10（ポータルサイト11）に接続する（S11）。ポータルサイト11の画面から、ピザ屋を選択し（S12）、ピザ屋のサイトAに飛ぶ。図5では、サービスサイトAは、ユーザIDをキーにして、ポータルサイト11の情報データベースを参照して、ユーザの住所を入手する（S13）。サービスサイトAでは、通知された住所からデータベース21を検索して、最寄りのピザ屋を探す。その結果を、画面に生成して表示する。ユーザは、この画面を見て、ピザを注文する（S14）。サービスサイトAは、注文したピザの価格、グレード等をポータルサイト11に通知する（S15）。センターサイト10では、この情報に基づいて、会員情報のデータベース13を更新する。例えば、サービスサイトAでの購入履歴13₄を追加する。

【0055】

次いで、ユーザが、語学スクールの申し込みを行った場合、同様に、会員情報

のデータベース 1 3 が更新され、サービスサイト B での購入履歴 1 3 ₅ が追加される。

【 0 0 5 6 】

このように、サービスサイトでのアクションが起こった度に、センターサイト 1 0 の会員情報データベース 1 3 が更新される。

【 0 0 5 7 】

また、異なるサービスサイトでのアクションに対して、同一の会員情報データベース 1 3 が更新される。

(検索方法)

次に、センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法について説明する。

(1) 第 1 の検索方法

提供するサービスのジャンル毎に、情報の提供範囲を定義しておき、会員の住所（自宅、職場等）と選択したジャンルをキーに検索し、ユーザに情報を提供する。

【 0 0 5 8 】

例えば、図 8 に示すように、自宅を中心に周辺の施設を検索するとき、医院の場合は、半径 5 0 0 m 以内を条件に検索し、スーパーの場合は、半径 2 k m 以内を条件に検索する。

【 0 0 5 9 】

これらの条件に合致した医院又はスーパーを表示する。

【 0 0 6 0 】

これにより、ジャンル毎に適した情報を提供することができる。

【 0 0 6 1 】

なお、上記数値は、例示であり、利用可能な交通手段に応じて、適宜変更される。

(2) 第 2 の検索方法

個々のユーザにサービスを提供する店毎に、サービス範囲を登録し、サービス

範囲が登録された店に関しては、このサービス範囲を検索条件に付加して検索する。これにより、店のサービス範囲を超えた場合は、検索出力されないようにする。

【 0 0 6 2 】

例えば、図 8 に示すように、自宅を中心に周辺の施設を検索したとき、住宅修理屋 A, B, C が検索されるが、住宅修理屋 C のサービス範囲に、自宅が含まれていないので、住宅修理屋 A, B のみが表示される。

【 0 0 6 3 】

これにより、依頼しても断られるような住宅修理屋は表示されないので、検索結果の情報の信頼度が上がる。

(3) 第 3 の検索方法

ユーザの現在位置周辺の特定施設に基づいて、検索式を作成することにより、ユーザの現在位置に適した情報を提供する。

【 0 0 6 4 】

例えば、ユーザが、スーパーの近くにいる場合は、スーパーの特販情報を提供する。また、ユーザが、駅にいる場合は、電車の運行情報を提供する。

【 0 0 6 5 】

なお、ユーザの現在位置は、ユーザの端末側に接続された P H S (Personal Handy-phone System)、G P S (Global Positioning System) などを利用する。

【 0 0 6 6 】

また、サービスサイト側がユーザの位置情報を取得する手段としては、ユーザが、位置情報をサービスサイト側に、任意に又は定期的に通知するようにしても良いし、また、サービスサイト側からユーザの端末側にポーリングを行うようにしても良い。

(4) 第 4 の検索方法

第 3 の検索方法において、ユーザが一定速度で移動している場合は、検索条件を変更することにより、ユーザの状況に適した情報を提供する。

【 0 0 6 7 】

例えば、電車に乗って移動している場合は、移動途中にあるスーパーの情報、駅の情報等を検索対象から外す。

【0068】

これにより、無駄な検索及び表示を防ぐことができる。

(5) 第5の検索方法

ユーザの移動方向に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの移動方向に適した情報を提供する。

【0069】

例えば、勤務先に向かっている場合は、移動先の情報を提供する。

(6) 第6の検索方法

ユーザの移動距離に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの移動距離に適した情報を提供する。

【0070】

例えば、移動距離が長い場合、乗り継ぎ駅の情報を提供する。

(7) 第7の検索方法

ユーザの移動履歴に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの移動履歴に適した情報を提供する。

【0071】

例えば、平日の深夜であって、移動していない場合は、その位置を自宅と判断して、日常生活情報を検索対象とする。

【0072】

また、平日の昼間であって、移動していない場合は、その位置を勤務先又は通学先と判断して、勤務先又は通学先に合致した情報を検索対象とする。

(8) 第8の検索方法

気象状態（現在の状態又は将来の状態）に基づいて、検索条件を変更することにより、気象状態に適した情報を提供する。

【0073】

例えば、晴れの日、徒歩圏内の情報を優先度を高くして表示し、雨の日、車での移動圏、オンラインショッピング、出前の情報を優先度を高くして表示す

る。

【0074】

次に、発明の態様を付記として示す。

【0075】

(付記1) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおいて、

前記センターサイトは、前記複数のサービスサイトの会員情報を格納した会員情報データベースを有し、

該会員情報データベースは、当該センターサイト又は前記複数のサービスサイトで得た会員に関する情報に基づいて、会員情報を格納し、

前記センターサイトは、前記会員情報データベースに格納された会員情報を、サービスサイトに通知することを特徴とするウェブサイトシステム。(1)

(付記2) 付記1記載のウェブサイトシステムにおいて、

ユーザが、前記センターサイトを經由して、前記サービスサイトにアクセスするとき、

前記センターサイトは、前記会員情報データベースから、前記ユーザの会員情報を抽出して、ユーザのアクセス先のサービスサイトに通知することを特徴とするウェブサイトシステム。(2)

(付記3) 付記2記載のウェブサイトシステムにおいて、

前記センターサイトは、前記会員情報データベースから、前記ユーザの会員情報を抽出してクラス分けし、前記ユーザのアクセス先のサービスサイトに、前記ユーザのクラスを、前記会員情報の全部又は一部として通知することを特徴とするウェブサイトシステム。(3)

(付記4) 付記1ないし3いずれか一項記載のウェブサイトシステムにおいて、

前記センターサイトは、会員ID情報を前記サービスサイトに通知し、

前記サービスサイトは、前記会員ID情報を用いて、前記センターサイトに会員情報を問い合わせ、会員情報を取得することを特徴とするウェブサイトシステム。

【0076】

(付記5) 付記1ないし4いずれか一項記載のウェブサイトシステムにおいて、

前記サービスサイトでユーザがアクションを行った場合、前記サービスサイトは、前記ユーザのアクションに関する情報をセンターサイトに通知することを特徴とするウェブサイトシステム。

【0077】

(付記6) 付記5記載のウェブサイトシステムにおいて、

センターサイトは、前記ユーザのアクションに関する情報を用いて、前記会員情報データベースの会員情報を更新することを特徴とするウェブサイトシステム。

【0078】

(付記7) 会員情報を格納した会員情報データベースを有するセンターサイトにおいて、

前記会員情報データベースには、当該センターサイトを經由して接続される複数のサービスサイトの会員情報が格納され、

前記会員情報データベースは、前記複数のサービスサイトに対して同一のデータベースであり、

前記会員情報データベースの会員情報は、前記複数のサービスサイトでのアクションに応じて、更新され、

前記センターサイトは、ユーザがサービスサイトにアクセスしたとき又は前記複数のサービスサイトから会員情報の問い合わせがあったとき、前記会員情報データベースに格納された会員情報を、サービスサイトに通知することを特徴とするセンターサイト。(4)

(付記8) 複数のサービスサイトの会員情報であって、複数のサービスサイト共通の会員情報を格納した会員情報データベースを有するセンターサイトを經由してアクセスされるサービスサイトであって、

当該サービスサイトでユーザがアクションを行った場合、前記会員情報データベースの更新を行うために、前記ユーザのアクションに関する情報を前記センタ

ーサイトに通知することを特徴とするサービスサイト。(5)

(付記9) 付記8記載のサービスサイトにおいて、

ユーザが、前記センターサイトを經由して当該サービスサイトにアクセスしたときに、前記センターサイトから、アクセスしたユーザの会員情報を得ることを特徴とするサービスサイト。(6)

(付記10) 付記8記載のサービスサイトにおいて、

前記センターサイトにユーザである会員を特定する情報を提示して、前記センターサイトから、会員情報を取得することを特徴とするサービスサイト。(7)

(付記11) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

サービスのジャンル毎に、検索範囲を変更することにより、サービスのジャンルに適合した情報を提供することを特徴とする検索方法。(8)

(付記12) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

個々のユーザにサービスを提供する店毎に、サービス範囲を登録し、

サービス範囲が登録された店に関しては、このサービス範囲を検索条件に付加して検索することにより、店のサービス範囲を超えた場合は、検索出力されないことを特徴とする検索方法。(9)

(付記13) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

ユーザの現在位置周辺の特定施設に基づいて、検索式を作成することにより、ユーザの現在位置周辺の特定施設に応じた情報を提供することを特徴とする検索方法。(10)

(付記14) 付記13記載の検索方法であって、

ユーザの移動速度に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの状況に適した情報を提供することを特徴とする検索方法。

【 0 0 7 9 】

(付記 1 5) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

ユーザの移動方向に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの移動方向に適した情報を提供することを特徴とする検索方法。

【 0 0 8 0 】

(付記 1 6) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

ユーザの移動距離に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの移動距離に適した情報を提供することを特徴とする検索方法。

【 0 0 8 1 】

(付記 1 7) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

ユーザの移動履歴に基づいて、検索条件を変更することにより、ユーザの移動履歴に適した情報を提供することを特徴とする検索方法。

【 0 0 8 2 】

(付記 1 8) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるサービスサイトが行う検索方法であって、

気象状態に基づいて、検索条件を変更することにより、気象状態に適した情報を提供することを特徴とする検索方法。

【 0 0 8 3 】

(付記 1 9) センターサイトと、該センターサイトを經由してアクセス可能な複数のサービスサイトとからなるウェブサイトシステムにおけるセンターサイトが有する会員情報データベースであって、

複数の場所を一つの地域として定義し、前記会員情報データベースに登録する

ことを特徴とする会員情報データベース。

【0084】

(付記20) 付記19記載の会員情報データベースにおいて、除外する場所を特定し、該特定された場所を、前記一つの地域から除外することを特徴とする会員情報データベース。

【0085】

【発明の効果】

上述の如く本発明によれば、次に述べる種々の効果を奏することができる。

【0086】

請求項1に記載された発明により、サービスサイトへのユーザの登録負担を軽減し、各サービスサイトにおいて会員情報の管理負担を軽減しつつ最新の会員情報を得ることができる。

【0087】

請求項2に記載された発明により、サービスサイトは、会員情報に基づいて、迅速に、必要な処理を行うことができる。場合により、ユーザの求める、検索を自動的に行うことができる。

【0088】

請求項3に記載された発明により、サービスサイトは、クラス情報に基づいて、ユーザに適合したホームページを表示することができる。

【0089】

請求項4に記載された発明により、請求項1～3に記載のウェブサイトシステムに適したセンターサイトを提供することができる。

【0090】

請求項5～7に記載された発明により、請求項1～3に記載のウェブサイトシステムに適したサービスサイトを提供することができる。

【0091】

請求項8に記載された発明により、サービスのジャンルに適合した情報を提供することができる。

【0092】

請求項 9 に記載された発明により、サービス可能な店しか、検索出力されない
ので、検索結果の情報の信頼度を上げることができる。

【 0 0 9 3 】

請求項 1 0 に記載された発明により、ユーザの現在位置周辺の特定施設に応じ
た情報を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明におけるシステム構成例を説明するための図である。

【図 2】

地域の定義例を説明するための図である。

【図 3】

ユーザがピザの注文を行う例を説明するための図（その 1）である。

【図 4】

ユーザがピザの注文を行う例を説明するための図（その 2）である。

【図 5】

センターサイトの会員情報データベースの更新の例を説明するための図（その
1）である。

【図 6】

センターサイトの会員情報データベースの更新の例を説明するための図（その
2）である。

【図 7】

ジャンル毎に検索範囲を変える例を説明するための図である。

【図 8】

サービスを提供する店毎に、サービス範囲を登録した場合の例を説明するた
めの図である。

【符号の説明】

- 1 ユーザ端末
- 1 0 センターサイト
- 1 1 ポータルサイト

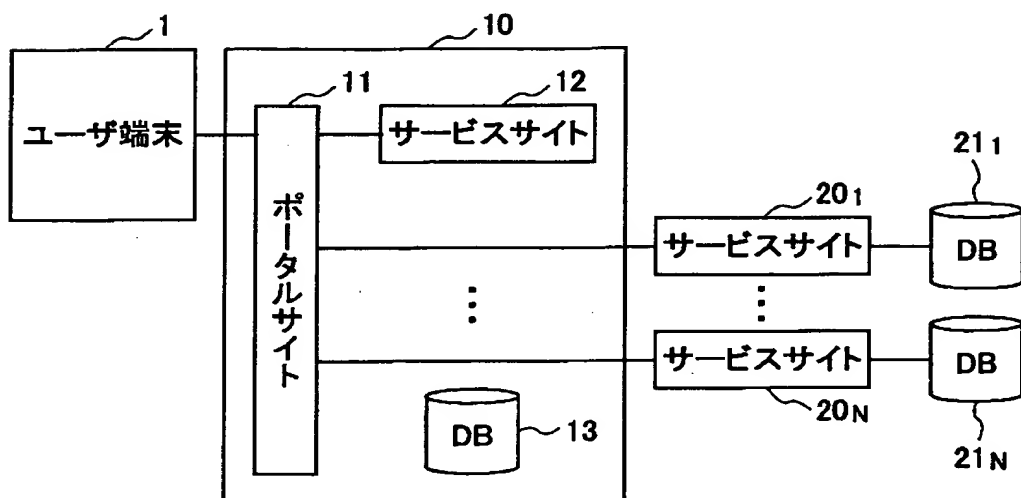
- 1 2 センターサイト内のサービスサイト
- 1 3 会員情報データベース
- 2 0 センターサイト外のサービスサイト
- 2 1 サービスサイトのデータベース

【書類名】

図面

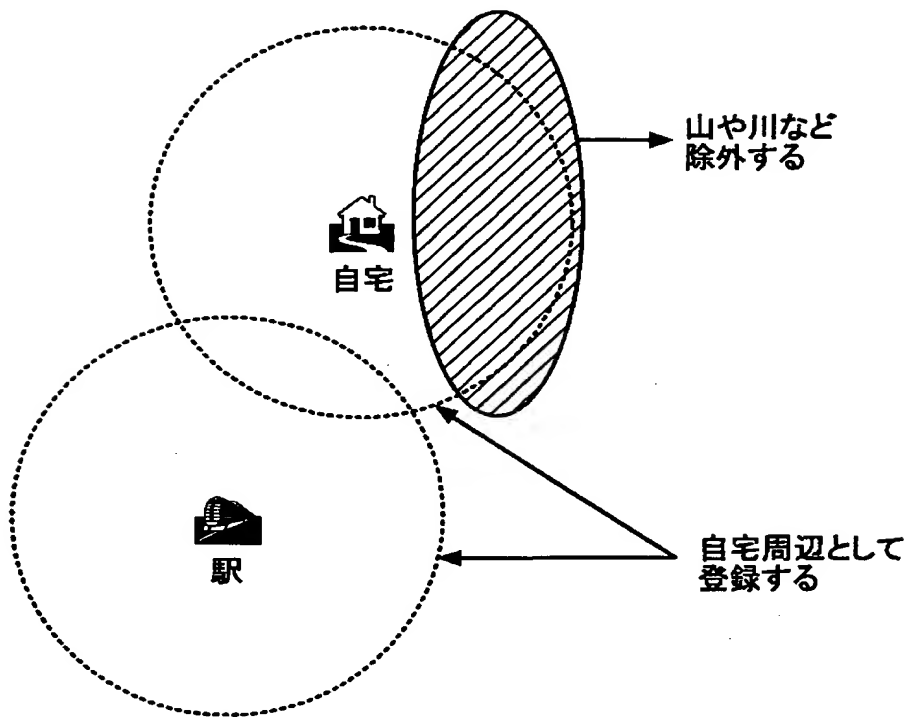
【図 1】

本発明におけるシステム構成例を説明するための図



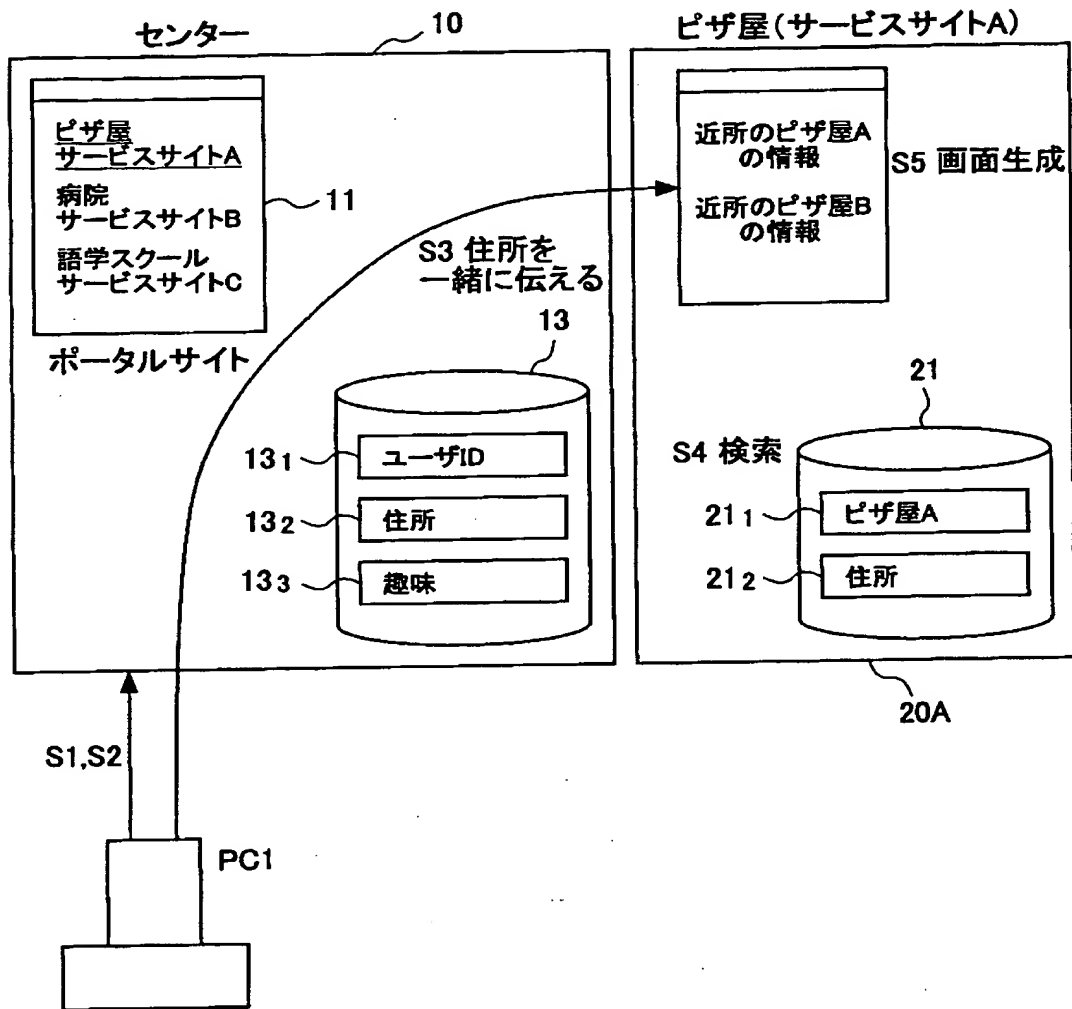
【図 2】

地域の定義例を説明するための図



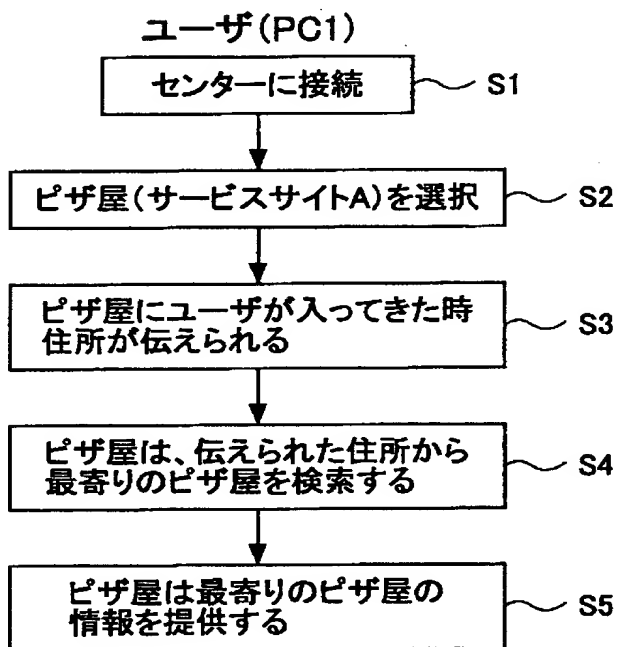
【図 3】

ユーザがピザの注文を行う例を説明するための図（その 1）



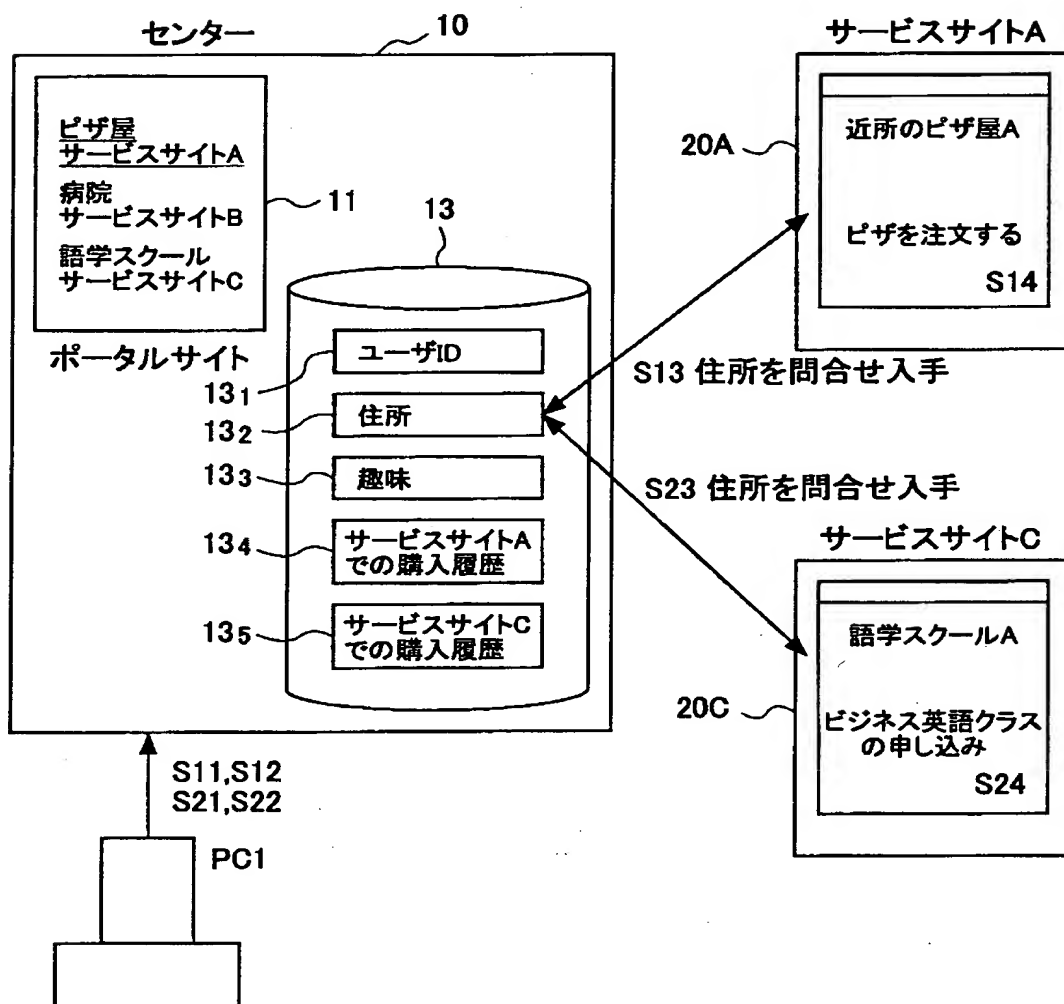
【図 4】

ユーザがピザの注文を行う例を説明するための図（その 2）



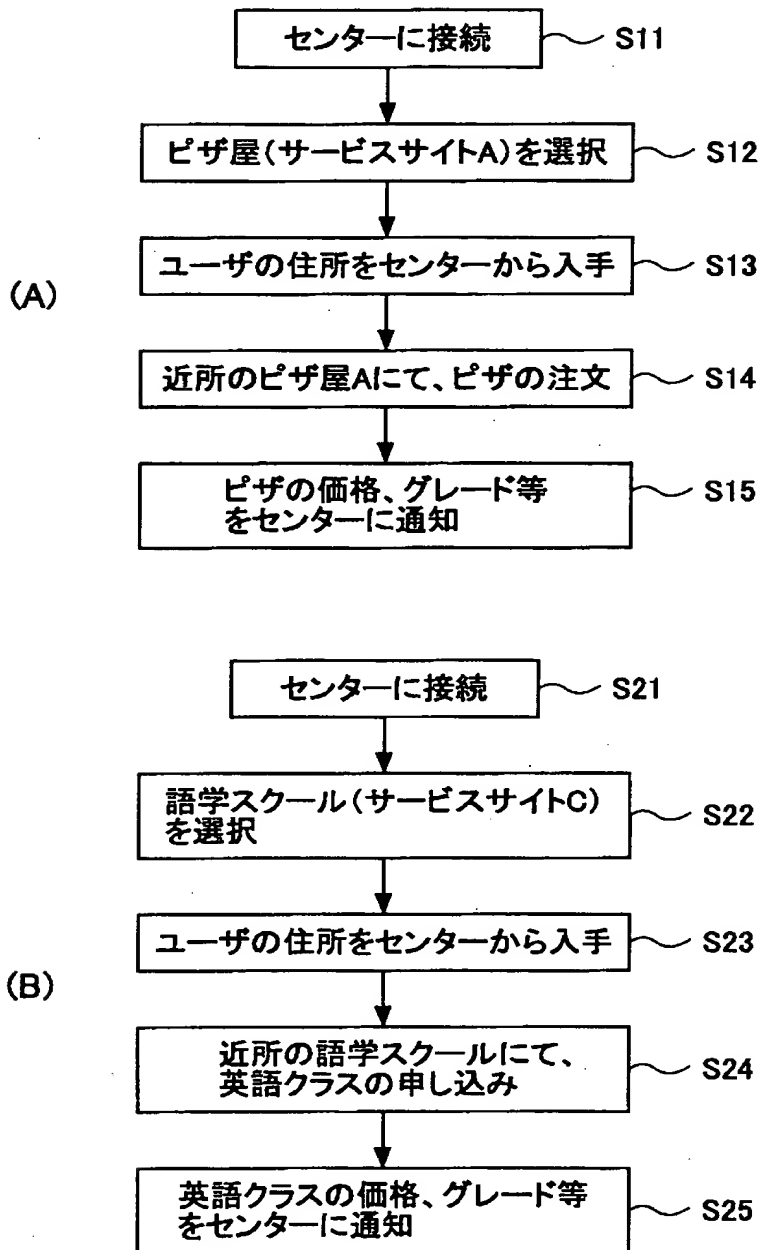
【図 5】

センターサイトの会員情報データベース
の更新の例を説明するための図（その1）



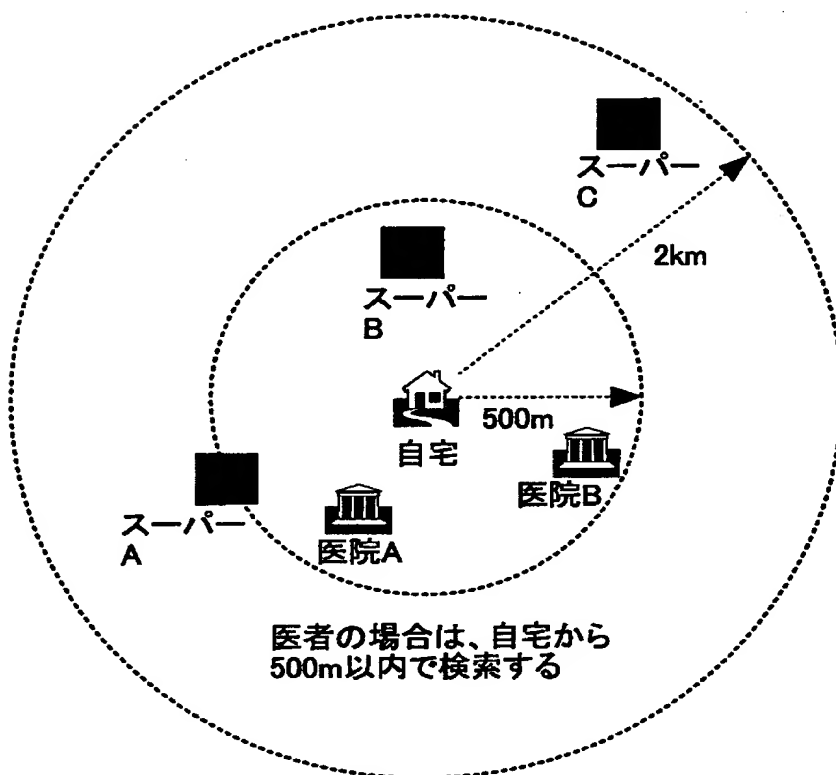
【図 6】

センターサイトの会員情報データベース
の更新の例を説明するための図（その2）



【図7】

ジャンル毎に検索範囲を変える例を説明するための図

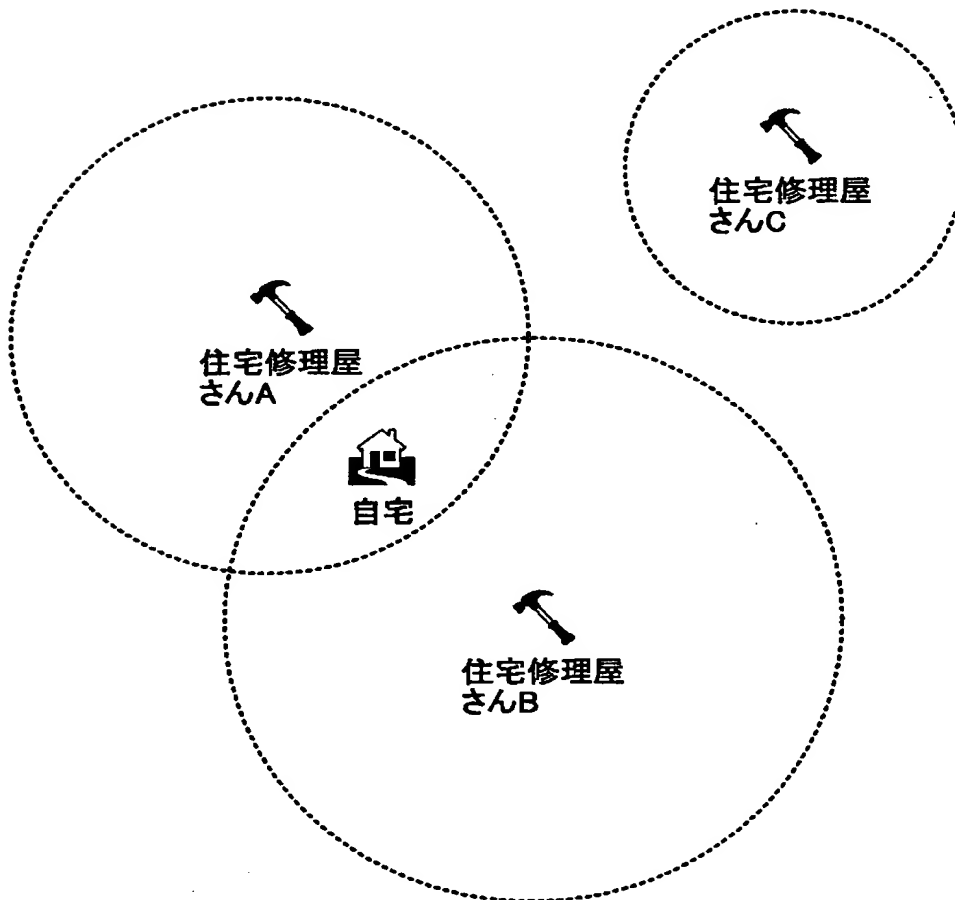


スーパーの場合は、自宅から2km以内

医院の場合は、自宅から500m以内で検索する

【図 8】

サービスを提供する店毎に、サービス範囲
を登録した場合の例を説明するための図



自宅(地域)をサービス地域とする住宅修理屋さんを検索する
A,Bは表示されるが、Cは表示されない

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 サービスサイトへのユーザの登録負担を軽減し、各サービスサイトにおいて会員情報の管理負担を軽減しつつ最新の会員情報を得ることを可能とし、ユーザの状況に応じた的確な検索を行うことを目的とする。

【解決手段】 ユーザ端末1は、ポータルサイト11を経由して、サービスサイト12、20₁～20_Nにアクセスすることができる。

センターサイト10は、複数のサービスサイト12、20₁～20_Nの会員情報を格納した会員情報データベース13を有し、会員情報データベース13は、ポータルサイト11又は複数のサービスサイト12、20₁～20_Nにおけるアクション情報に基づいて、会員情報を更新する。センターサイト10は、所定の場合に、前記会員情報データベース13に格納された会員情報を、サービスサイト20₁～20_Nに通知する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社